

令和5年度 高千穂町立岩戸小学校 学校関係者評価書

【評価】 4：よい、3：だいたいよい、2：もう少し、1：よくない

【重点目標】 ○ 基礎的・基本的な知識・技能の習得、活用を通じた表現力の育成

重点目標	重点目標	評価項目	平均（4点満点）期待値：3.2					考察及び改善策	学校関係者評価委員の意見
			児童	保護者	職員	平均	総合		
知 づ く り	学 習 指 導	① 学校は、「わかる」「できる」授業を行い、学習内容を定着させ、学力を向上させている。	3.8	3.4	3.0	3.4	3.2	○ 職員の評価は低いが、児童と保護者の平均は期待値を超えており、児童の満足度は+0.8と高い。これは、担任や専科等の職員が校内の研究授業を積極的に実施し、児童に分かりやすい授業を実践しようとしている成果だと考えられる。	① 児童や保護者の評価が高いこと及び②の考察から、「わかる」「できる」授業を実践していることがうかがえる。児童の学力向上のため、今後も期待している。
		② 児童に学年の学習内容が定着して（高まって）いる。	3.4	3.3	3.2	3.3		○ 評価平均「3.3」で達成率83%であった。全国学習状況調査は、国語と算数ともに全国平均及び県の平均を上回った。CRT検査等の結果においてもほとんどの学年で全国平均及び県の平均を上回っている。今後も「分かる」「できる」授業を意識し、少人数ならではのきめ細かな授業を実践する。	② 少人数学級のよさを生かし、今後も学習内容の定着に努めてほしい。
		③ 担任は、タブレット等を活用し、「分かる」「できる」授業をしている。	3.4	3.4	2.6	3.1		○ 評価は、平均「3.1」で達成率78%であった。これは、職員の自己評価が低いためだが、児童と保護者の評価は高い。毎回の授業でタブレットを活用していないものの、児童の意見を集約したり問題に取り組ませたりと効果的な活用はできている。	③ タブレットの活用は、参観授業において児童が発表ツールとして活用している姿から、適宜活用していることがわかる。今後も必要に応じて効果的な活用を意識して実践してほしい。
		④ 児童に家庭や児童クラブで宿題をする等、家庭学習の習慣が身に付き、宅習の内容が充実してきている。	3.4	3.1	2.9	3.1		○ 評価は、平均「3.1」で達成率78%であった。児童の自己評価は高いが、保護者や職員の評価は十分ではない。ごく一部の児童に家庭学習の習慣が身に付いていないので、参観日などで啓発したり個別に対応したりしながら家庭学習の習慣を身に付けさせたい。	④ 家庭学習の習慣化については、参観日などで保護者に引き続き啓発をしてほしい。
	図 書 館 教 育	⑤ 児童は、学校の図書室で借りた本やその他の本を読む時間や機会が増えている。	3.2	2.8	3.0	3.0		○ 評価は、平均「3.0」で達成率75%であった。校内では、昨年度よりも貸出冊数が増加しており、低学年を中心によく見られる。保護者の評価が低いのは、毎週水曜日を「読書課題の日」と設定して家族での読書を推奨しているものの、保護者が読書を一緒にしないためと考えられるので、参観日や各種通信等で啓発したい。	⑤ スマートフォンの利用により、保護者が家庭で読書をする機会が減少していると感じる。今後も「読書課題の日」を継続し、家庭での読書を推奨してもらいたい。

【重点目標】 ○ 基本的な生活習慣の確立と思いやりの心や正しい判断力を育てる指導の充実

重点目標	重点目標	評価項目	平均（4点満点）期待値：3.2					考察及び改善策	学校関係者評価委員の意見
			児童	保護者	職員	平均	総合		
生 活 づ く り ・ 心 づ く り	生 活 的 な 慣 習	⑥ 児童は、「おはよう」「いただきます」等の家庭でのあいさつのほか、家庭外でもあいさつをしている。	3.7	3.3	3.2	3.4	3.5	○ 評価は、平均「3.4」で達成率85%であった。児童の自己評価は高いのは、朝のあいさつ運動等による成果だと考えられる。家庭や家庭外のあいさつについては、地域の方々にも積極的にあいさつをするよう、児童や保護者に啓発を継続する。	⑥ あいさつをする姿は地域でもよく見られる。朝のあいさつも元気よく行いが、「行ってきます」等の返事や自ら進んで「先取りあいさつ」ができるよう指導を継続してほしい。
	生 徒 指 導	⑦ 学校は、教育相談などをとおして、児童理解に努めている。	3.8	3.3	3.8	3.6		○ 評価は、平均「3.6」で達成率90%であった。保護者の満足度は低いものの、児童と教師の評価は高い。毎月「心のアンケート」による教育相談を実施し「まごころ委員会」で共通理解して指導している成果だと考える。今後も児童が教師に相談できるよう努める。	⑦ 児童の評価が高いことから、職員が意識して教育相談などによる児童理解に努めていることがうかがえる。今後も児童が笑顔で登校できるよう努めてもらいたい。
	思 い や り の 心 ・ 責 任 感	⑧ 学校は、道徳や学級活動、各種行事等をおして、児童の思いやりの心を育てている。	3.6	3.5	3.5	3.5		○ 評価は、平均「3.5」で達成率88%であった。昨年同様、道徳や学級活動や日常の授業をおして相手を思いやる心が育ってきている。また、運動会などの行事をおして自分や相手を思う気持ちが育っている。今後も適宜・適切に思いやりの心を育てる手立てを講じる。	⑧ 思いやりの心は、授業のみならず日々の活動によって培われるので、今後も各種活動をおして育ててほしい。
		⑨ 児童に、最後まで責任をもって取り組もうとする態度が身につけて（高まって）きた。	3.4	3.2	3.4	3.3		○ 評価平均「3.3」で達成率83%であった。校内においては、各種当番や委員会活動等の取組を称賛することで責任感の醸成を図っている。保護者の満足度が低いのは、家庭での取組状況によるものと考えられる。今後は参観日や通信等を活用し、家庭でも責任感の醸成を図る取組を推奨する。	⑨ 家庭と連携して責任感を醸成するため、参観日や各種通信をおして、家庭での手伝いを啓発するとよい。

【重点目標】 ○ 粘り強さを育てる指導や健康・生活安全指導の充実

重点目標	重点目標	評価項目	平均（４点満点）期待値：３.２					考察及び改善策	学校関係者評価委員の意見
			児童	保護者	職員	平均	総合		
体づくり	体力づくり	⑩ 児童の体力が、向上したとを感じる。	3.7	3.4	3.1	3.4	3.5	○ 評価は、平均「3.4」で達成率85%であった。児童の評価が高いのは、体育の授業や昼休みの活発な外遊びへの参加によるものと考えられる。また体力テストの結果において「A判定」が男子10名(24%)女子7名(19%)であり、体力の向上が図れた。一方で、「D E判定」が全体の15%であったので、各種活動をととして体力向上を図りたい。	⑩ 計画的な体育の授業の実践や体力テストに向けた取組により、児童の体力が向上している。ただ、体力テストの結果が下位の児童に対する手立てをスクールスポーツプランなどを活用しながら講じてほしい。
	安全指導	⑪ 学校は、安全な教育環境づくりと児童の「危機回避意識」の高揚に努めている。	3.7	3.5	3.8	3.7		○ 評価は、平均「3.7」で達成率93%であった。職員と児童の評価が高いのは、年４回の避難訓練の際に、切実感をもたせる手立て（予告なしで訓練を実施、移動の放送に緊迫感等）を工夫しているからだと考えられる。今後も児童にとって安全な環境づくりに努め、危機回避意識の高揚を図る。	⑪ 今後も児童の安全な教育環境づくりと児童の「危機回避意識」の高揚に努めてもらいたい。
	健康教育	⑫ 児童に、健康に関する望ましい態度や習慣が身に付いてきている。	3.6	3.2	3.4	3.4		○ 評価は、平均「3.4」で達成率85%であった。本年度も「元気もりもりタイム」の時間に健康三原則に関する項目について指導を行い、態度や習慣の形成を図っている。メディアの利用については、今後も高千穂町の「メディア利用のルール」の指導と家庭への啓発活動を行う必要がある。	⑫ 家庭における「メディア利用のルール」や早寝・早起き・朝ごはんなどの習慣化を参観日や各種通信等で継続して啓発してほしい。

【重点目標】 ○ 家庭や地域社会との連携強化

重点目標	重点目標	評価項目	平均（４点満点）期待値：３.２					考察及び改善策	学校関係者評価委員の意見
			児童	保護者	職員	平均	総合		
地域の中の学校づくり	人材活用	⑬ 学校は、地域人材や地域の素材等を授業に取り入れている。	3.2	3.5	3.4	3.4	3.3	○ 評価は、平均「3.4」で達成率85%であった。本年度は、地域学校協働活動推進委員を通じて地域の人材を活用することができた。そのため、専門的知識や思いを児童が学ぶことができた。今後も地域の人材や素材を授業に取り入れ、ふるさとへの誇りや憧れを高めたい。	⑬ 今後も地域学校協働活動推進委員を通じて地域の人材を活用し、ふるさとへの誇りと課題意識をもたせることで、地域に関わろうとする児童を育成してほしい。
	情報発信	⑭ 学校は、学校参観や各種便り、HP等で家庭や地域へ積極的な情報の発信をしている。	3.3	3.5	3.3	3.4		○ 評価は、平均「3.4」で達成率85%であった。参観日の来校率が95%と高く、本年度も教育活動に対する関心が高い。これは、学級通信や保健便り等の定期的な発行と学校のHPを毎日更新したりする等し、広報活動に努めた成果だと考える。次年度も情報発信に努め信頼される学校づくりを目指す。	⑭ 保護者の学校への関心は高く、各種協力体制も整っていると感じる。今後も各種情報発信をととして、保護者の学校への関心を高める取組を継続してほしい。
	地域交流	⑮ 児童は、地域の各種行事等に積極的に参加し、地域と交流している。	3.3	3.3	2.8	3.1		○ 評価は、平均「3.1」で達成率78%であった。児童や保護者の自己評価は80%を達成しているものの職員の評価が低い。天岩戸保育園との交流や地域の高齢者へのお便り交流は実施できたが、校外での交流を十分に把握できていないからだと考えられる。	⑮ 「ふれあい参観日」による地域住民との交流や各種授業をととして、交流する機会を今後も増やしてほしい。次年度は、地区懇談会を参観日に行うことで、公民館長が来校して児童の様子を確認することが可能となるので、より一層の交流が期待できる。

【次年度の方向性についての校長所見】

「学校の教育目標を具現化するために、職員一人一人が当事者意識をもち、全職員が協働して教育にあたる。」「常に研鑽と修養に努め、互いに学び合う職場環境を醸成するとともに、家庭・地域と連携し、信頼される学校を目指す。」という経営ビジョンのもと、①子どもを伸ばす学校（継続、徹底、見届け、声かけ）、②教師の指導力を高め、磨き合う学校、③家庭・地域に信頼される学校を意識させ、実践してきた。保護者や地域の方々のご理解・ご協力のもと、児童の「生活づくり・心づくり」、「体づくり」に関しては、目標値を達成することができた。一方、「知づくり」に関しては目標を達成することができなかったため、職員の指導力向上を目指し、具体策を講じる。

次年度も保護者や地域の方々との協力を得ながら、本校の教育目標「自ら考え、正しく判断し、豊かな人間性をもち、たくましく生きる児童の育成」の具現化を図るため、保護者や地域の信頼を得られるよう、全職員協働による教育活動に取り組み、健全な岩戸っ子を育む教育を推進する。